

事務事業名	掛合総合センター庁舎管理事業	所属部	掛合総合センター	所属課	自治振興課
政策名	総合計画体系<VI>推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G	庶務グループ	課長名	梶蔦瑞恵
施策名	<37>時代にあった行政サービスの実現	担当者名	茂富貴志	電話番号(内線)	0854-62-0300
基本事業名	<108>業務と組織機構の見直し	予算科目	会計 款 項 目 中事業 0 1 1 0 0 5 3 0 0 2		庁舎管理事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)	掛合総合センター施設(庁舎、別館、書庫及び車庫)の維持、修繕及び管理、防犯灯管理業務	平成16年11月合併に伴い、旧掛合町役場(昭和38年建設)を一部内部改修し、雲南市の掛合総合センター庁舎として整備。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	財源内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	12,746	10,512	10,776	10,682	10,997		
		事業費計(A)	千円	12,746	10,512	10,776	10,682	10,997		
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	78	107	107	107	100		
		人件費計(B)	千円	297	416	422	0	0		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	13,043	10,928	11,198	10,682	10,997		

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	・施設・設備管理委託業務等の契約事務 ・維持管理対応、支払事務 ・修繕工事等への対応	ア 施設の数	棟	4	4	4	4	4	
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 委託件数	件	7	6	6	6	6	
	23年度実績と同様	ウ 職員数(臨時職員も含む)	人	25	25	23	21	21	
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	・センター施設(庁舎、別館、書庫、車庫) ・雲南市民	⑥ 対象指標							
	ア 施設の数	棟	4	4	4	4	4	4	
	イ 人口	人	42,402	41,917	41,159	41,032	40,650		
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	・事務に支障が生じないための維持 ・各種施設の維持及びメンテナンス ・維持管理経費の節減	ア 維持管理経費	千円	12,746	10,512	10,776	10,682	10,997	
	イ 要修繕箇所	件	9	3	5	5	5		
	ウ 修繕済箇所	件	9	3	4	5	5		
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	効率、公平なサービスを提供する。	ア 雲南市の行政サービスに納得している市民の割合	%	66.7	67.0	66.7	70.0	70.0	
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
勤務者数が年々少なくなり庁舎スペースが広く維持管理については非効率的(特に冷暖房)といえる。 また、現庁舎は昭和38年の建築であり施設についても雨漏り等老朽化が進んでいる。修繕にかかる経費が毎年少なからず発生している現状である。	・庁舎1階フロア清掃(トイレ含む)を委託から週1回勤務者で実施とした。 ・光熱水費節減のためエアコン使用を極力避け、冬はストーブ等を使用。 ・軽微修繕を箇所によっては直営で実施し原材料代に抑えた。	総合センター庁舎の利用については、空きスペースの有効活用を求める声がある。

事務事業名	掛合総合センター庁舎管理事業	所属部	掛合総合センター	所属課	自治振興課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 掛合総合センターは掛合町の拠点であり身近な行政機関としての施設として、庁舎施設維持管理は不可欠である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 雲南市行政において周辺地域の住民窓口として、行政サービス等の公平性を保つ拠点であるための行政施設である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 総合センターは、行政サービス等を公平に扱うための施設で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 庁舎の老朽化が進み、今後修繕の箇所が多く発生することが見込まれる。しかし、地域の行政拠点としての役割から維持・管理が必要。会議室や施設、備品利用など住民が親しみやすく、利用しやすい環境の構築ができればと考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 掛合総合センターは雲南市の南部の行政窓口拠点であり、周辺地域での行政サービスの公平性を保持するためにも庁舎維持は不可欠である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はなにか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷(具体的な手段, 事務事業) 他総合センター・市役所庁舎管理事業 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はあるが、統廃合・連携については本庁・総合センターとの有り方を検討する必要がある。地域の拠点である総合センター庁舎管理は使用部局で行うべきである。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 掛合総合センター庁舎の維持管理に関して、主に警備委託費となるが、危機管理体制からすると代替機能が整備されない限り削減の余地は無いと考える。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 維持管理事務は最小限で行っている。清掃委託の廃止など事業費削減を行うが、直営業務は増加する。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 行政機関であり、一部の受益者に限定されるものではない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設老朽化が進み最低限の修繕は行った。年間の気候が比較的安定していたため光熱水費節減ができ充分により運営できた。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現在の庁舎は、老朽化が進み、今後修繕の箇所が多く発生することが見込まれる。しかし、地域の行政拠点としての役割を果たすため庁舎を維持し、地域に会議室や備品施設の有効利用など、住民がより使いやすい形を構築するよう検討が必要と考える。
---